

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 旭川中央ケアサポート 安心コールセンター

(第6回) 介護・医療連携推進会議議事録

日時 平成29年11月21日 (火) 13時30分～14時10分

場所 旭川中央ケアサポート かりのすまい東光 1階研修室

出席者

事業所	福祉介護事業課長	遠藤 康敏
	福祉介護事業係長	大谷 清加
旭川市職員	福祉保健部介護高齢課 主幹	石井 学 様
居宅介護支援事業所 縁 ケアマネージャー		滝 ゆかり 様
定期巡回随時対応サービス利用者 (次女)		弘田あゆみ 様
まつもと調剤薬局 薬剤師		松本 様 (社長)
〃	元療育園職員	坂本 様
〃	営業	宮越 様

議題

事業所より報告

1. 利用状況の現状

- (1) サービスについての経過報告 (事例)
- (2) 今後サービスについての抱負
- (3) 意見交換
- (4) 次回開催予定

【会議より 抜粋】

(遠藤)

訪問介護&夜間対応型訪問介護&定期巡回随時対応サービスの違いについて。

- ・ サービス提供時間帯
- ・ サービスの内容
- ・ サービス料金

<サービスのメリット>

- ・ 1日複数回の定期訪問が可能。
- ・ 定額なので、利用する回数が増えても負担にならない。
- ・ 介護と看護の両方のサービスが受けられ、定期訪問だけではなく、必要な時に随時サービスを受けるといった、利用者の心身の状況に応じて柔軟なサービスが受けられる。
- ・ 1日に何度も利用することが可能であるが、そこにはアセスメントに基づき適切なサービスの回数となっている。

(看護師 大谷)

利用者 西野重太郎様 利用経過・状況報告

(滝ケアマネ)

通常の訪問介護は介護保険の点数に縛りがあり、必要なだけサービスの提供が出来ない難しさがある。施設には入れない、「限度額を調整する」、「必要なサービスを探す」など大変さや難しさがあるが、このサービスがあると利用者にとって柔軟な対応が可能である。

(弘田様)

ここに入居するまでは2世帯で住んでいたが、お互いに気がはり生活していた。常に一緒に居るわけではなく、本人も転んでしまっはとの思いから怒りやすくなっていた。ナースコールもないので特に夜間は家族も常に落ち着かない生活が続いていた。

4月に入居し、以降生活にも慣れて来たのか、穏やかになり表情が変わったように感じる。安心して任せられるサービスだと思う。

(薬剤師 松本様)

調剤薬局を初めて 25 年、常に地域に根ざしたサービスをとっている。

例：(薬の管理について)

高齢で独居生活の利用者が居て、病院を 7 科通っている。薬の量も可なりあり、本人が調整するのは困難である。通常は訪問看護師が薬の管理をすることになるが、その為本来の看護業務が出来なくなるのが課題となる。

現状まとも調剤薬局様はそこを補うサービスの一つに、保険外で出来る無償のサービス、調剤薬局で薬剤師が薬を整理しご自宅へお届けする。地域に根ざしたサービスの一つとし更なる飛躍を考えている。(週に 1 度は訪問し様子を伺うなど)。互いに地域に根ざすサービスだと思ふ。

(坂本様)

在宅での介護・医療には難しさがある。一人で走ってしまわないよう、まずは研修体制を組んで皆で勉強していく時間が必要である。まずは対話から始める必要がある。

(宮越様)

周りの方が安心できるサービスだと思ふ。不安がなくなる一助になればと思ふ。

(石井様)

状況を聞き、きめ細かな事が出来るサービスだと思ふ。

次回開催予定

この会議は概ね 3 か月に 1 度開催が義務付けられている協議会です。利用者・家族・地域住民代表・サービスについて知見を有する方々で構成し、サービス提供状況を事業所より報告。それについて評価・助言を頂き、事業の透明性・地域との連携を図るものです。今後もサービスの質の確保、地域づくりに努めていきたいと考えます。

次回開催予定 平成 30 年 2 月